

## 9 天然酵母飲料「酵母バイオMT7000」のアレルギー軽減効果

○大西秀典

(ストレスクリニック・おおにし内科)

多田龍生 (第一酵母株式会社)

### [目的]

天然酵母発酵飲料「酵母バイオMT7000」の食効のひとつにアレルギー軽減作用があることをこれまで臨床的に認めていた。それを免疫学的に実証するために、飲用臨床試験を行った。

### [症例]

64歳女性。20代後半より気管支喘息にて治療を受けていたが難治性で、50代より経口ステロイド剤を使用。初診1年前より夜間起座呼吸。初診時、中等度持続性喘息、IgE 1363IU/ml、好酸球数10.8%。ステップ3に準じた治療を行ったが治療抵抗性であった。6ヶ月後IgE 1197IU/ml。14ヶ月後より酵母バイオMT7000の1日60ml飲用を開始。16ヶ月後に軽度持続性喘息に、17ヶ月後には間歇的喘息と軽快し、IgEは202IU/ml、好酸球数は3.3%と著減した。この時点で経口ステロイド剤を離脱する事ができた。現在も経過良好である。

### [方法]

酵母バイオ製品を飲用したことがない女子大生30名を対象とした。対照期間を飲用期間の前後に2週間とった。4週間の飲用期間中は酵母バイオMT7000を1日60mlを2ないし3回に分けて飲用させ、飲用開始前日、飲用終了翌日、試験終了日に血液検査を施行した。

### [結果]

飲用前にIgEが高値であったものは11名、正常値であったものは19名、飲用前に好酸球数が高値であったものは8名、正常値であったものは22名であった。IgEは飲用前の値に関係なく、飲用後に有意な減少を認めた。好酸球数は正常値の群は飲用前後で有意な増減を認めなかったが、高値群は飲用後に有意な減少を認めた。

### [結論]

症例では酵母バイオMT7000の飲用により、臨床症状の著名な改善とIgE、好酸球数の著名な減少を認めた。飲用試験においては、酵母バイオMT7000の飲用により、IgEと好酸球数が増加している群では、両者の有意な減少を認めた。これらは酵母バイオMT7000のアレルギー軽減作用を免疫学的に実証するものである。